

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-12号)

令和元年8月23日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年8月21日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

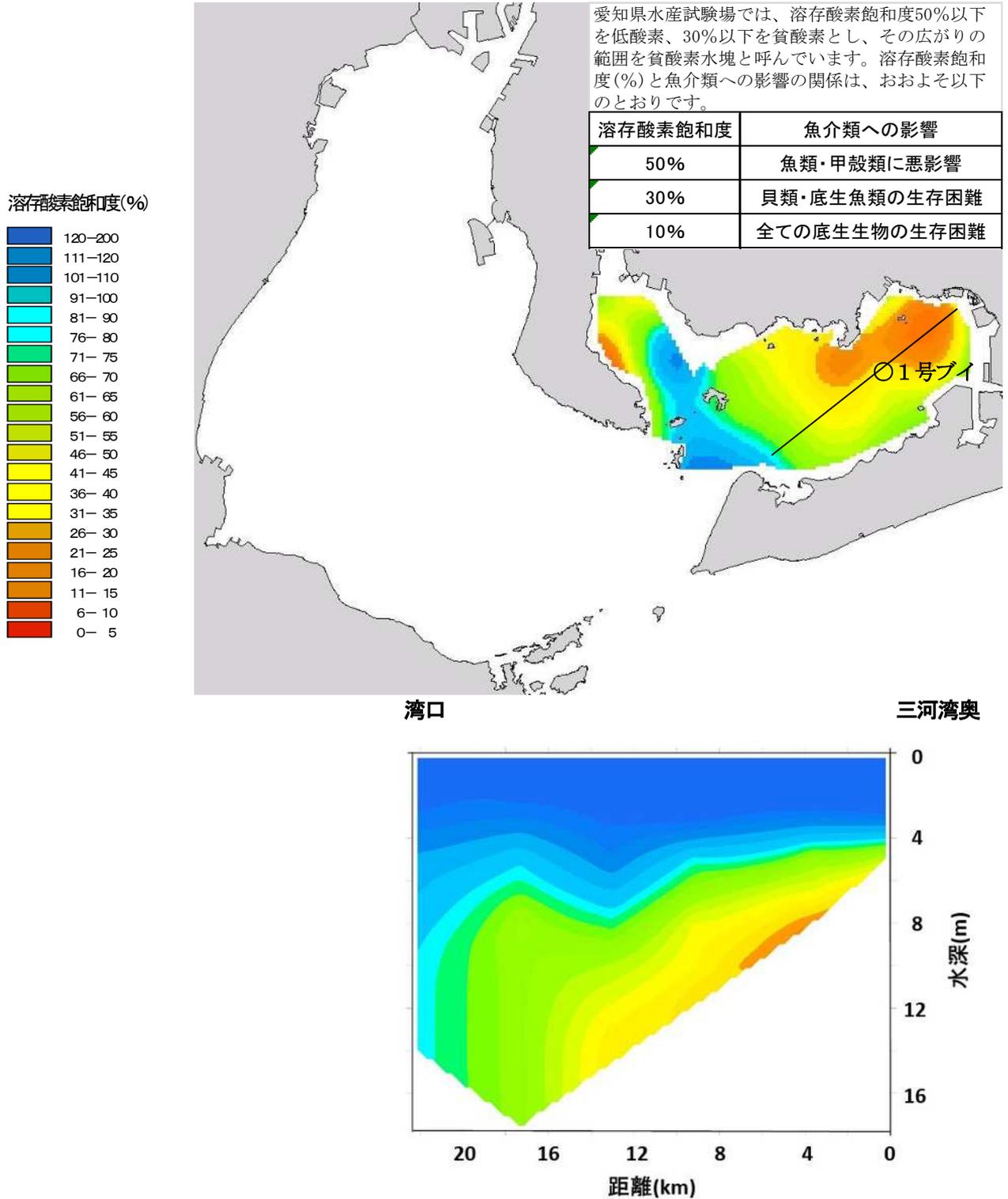


図1 三河湾（8月21日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）  
（愛知県「へいわ」調査）

### 三河湾

8月21日の調査結果を図1に示しました。前回調査（8月5、6日）に比べ、渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊が縮小していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、8月13日から16日にかけて台風第10号の影響による風速6.7～15.8m/s（平均11.5m/s）の東南東から南西の風が断続的に吹いて、17日に貧酸素水塊が解消した様子が観測されました。なお、8月13日から14日にかけては平均9.5m/sの風が断続的に吹いて、豊橋港から六条潟の沖で苦潮が発生していました。

今後は、表底層間の水温及び塩分の差が大きいことから、再び躍層が形成され、貧酸素水塊は発達すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	29.4～32.3	11.7～28.5
底層	24.6～27.8	29.9～32.7

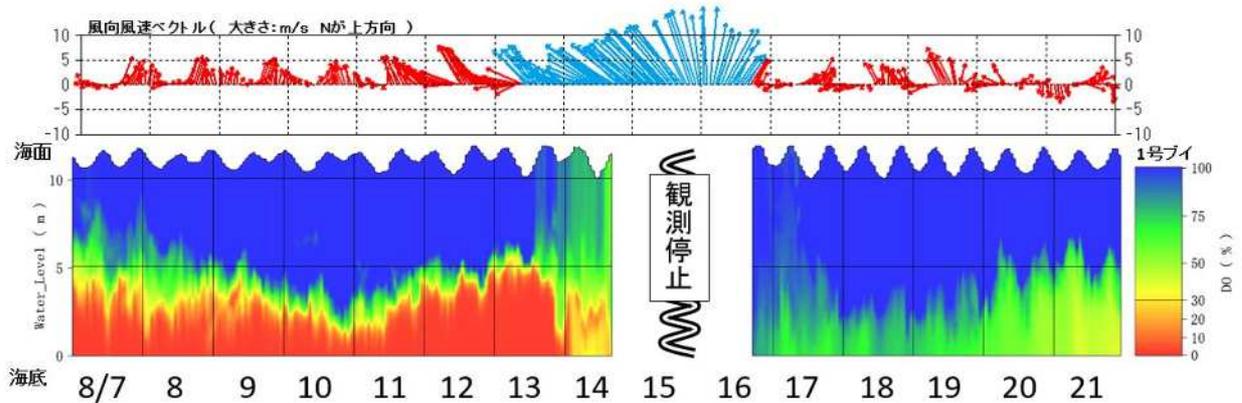


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）  
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

### 参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

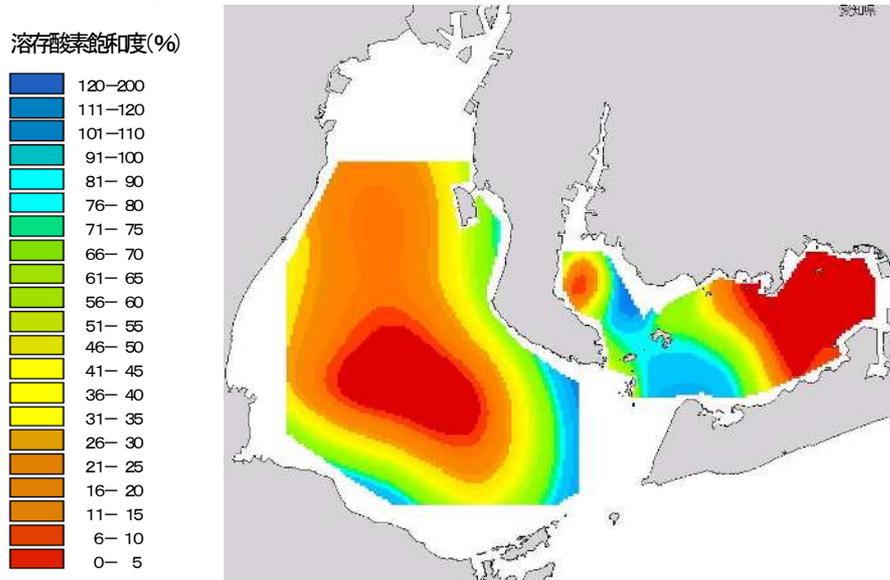


図3 令和元年8月5、6日（伊勢湾）、8月5、6日（三河湾）